

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586005301	科目番号 / Subject code	05860053
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12711_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動 (経済活動と社会) / Economic Activity and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori, 赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉沢 裕典 / yoshizawa yasunori		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化社会学部・教育学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yoshizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部 (片淵キャンパス) 本館510		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	各授業2校時後の20分間		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	わたしたちの社会は市場経済という制度を使い、(1)誰が(2)何を(3)どれだけ(4)どうやって作るか ?(5)誰が(6)何を(7)どれだけもらうのか?といった問題を解決している。市場経済がどのようにして この問題を解決しているのかについて理解する。		
授業到達目標/Goal	経済学の基本的な考え方を理解し、それをを用いてさまざまな社会現象を説明できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式 講義中に問題演習を行うことがある。		
授業内容/Class outline/Con	授業計画 (変更する場合は授業で説明する)  第1-2回 インTRODクシヨン、経済学の考え方 第3-8回 ミクロ経済学の対象と考え方 第9-16回 マクロ経済学の対象と考え方 第17回 定期試験		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	漫然と講義を聞いているだけでは、経済学の考え方を身につけることはできない。自主的に教科書 以外の関連書籍を読み、また、社会問題を経済学的に考えるようにしてください。		
キーワード/Key word	市場経済、競争市場、需要と供給、資源配分、余剰、市場の効率性		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	【教科書】 N・グレゴリー・マンキュー 『マンキュー入門経済学[第2版]』 東洋経済新報社、2014 年		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	第8回の授業時にレポートを課す。 最終評価はレポート40%、定期試験60% レポートを提出していない者は定期試験の受験資格を与えず、失格とする。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/21		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586005701	科目番号 / Subject code	05860057
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12721_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動 (企業の仕組みと行動) / Organization and Behavior of Enterprise		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru, 赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化社会学部・教育学部・薬学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yuzuru nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	東南アジア研究所209室		
担当教員TEL/Tel	-7218		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14時から20時まで。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講義は、経営学と呼ばれる学問領域について、全体像を提供することを目的とする。とくに、管理(経営資源を配分・調整すること)に着目して論じる。 経営学に関心を有する諸君は、本講義によって当該領域に関する概要を知り、以降の学修に役立てられんことを願うや切である。		
授業到達目標/Goal	1. 経営学における主要な概念を理解すること。 2. 上記概念が成立した過程を知ること。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義による。		
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	所有と経営の分離; 株式会社; 科学的管理法; 人間関係論; 統計的品質管理; 品質保証; 労働生産性; 能率		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は、使用しない。担当教員が、教材を配布する。 参考書として、以下2点を挙げる。 1. 土屋守章(1994)『現代経営学入門』新世社。 2. 早川豊彦編(2004)『工業管理技術』実教出版。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト: 30% 定期試験: 70%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし。 通算して4回以上欠席した学生は、定期試験を受験する権利を喪う。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション : 講義目標と方法について説明する		
第2回	企業形態1/2 : 資金調達法に着目、株式会社生成に至る過程を概説する。		
第3回	企業形態2/2 : 株式会社における所有と経営の分離とその問題点について論じる。		
第4回	企業組織1/2 : ライン組織やライン=スタッフ組織など諸形態について、発生と長短を論じる		
第5回	企業組織2/2 : 事業部制生成と発展について、概説する。		
第6回	工程管理1/2 : 生産計画、特に日程計画および工数計画について、手法を運用しながら解説する。		

第7回	工程管理2/2 : 工程分析と作業研究について、意義と手法を概説する。
第8回	科学的管理法1/2 : 概要と取り組む諸活動を、背景に言及しながら論じる。
第9回	科学的管理法2/2 : 科学的管理法以降に現れた、様々な動機付け手法について解説する。
第10回	品質管理1/2 : 品質管理が掲げる目的と手法を、練習問題をとりまぜながら解説する。
第11回	品質管理2/2 : 近年における検査および品質保証活動について、意義を概説する。
第12回	人事管理 : 労働者を合理的に活用する諸活動について、概説する。
第13回	労働生産性 : 企業活動から得られる成果を評価する一指標について、計算しながら解説する。
第14回	労働生産性 : 企業活動から得られる成果を評価する一指標について、計算しながら解説する。
第15回	環境管理 : 自然環境に負荷を与えないように、なにをするべきか論じる。
第16回	定期試験

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586006101	科目番号 / Subject code	05860061
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12731_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動 (経済政策と公共部門) / Economic Policy and Public Sector		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	選択科目: テーマ名: 現代経済と企業活動 カテゴリー名: 多様性と共生 対象学生: 多文化社会学部、教育学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akaishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	経済学部本館6階632番研究室		
担当教員TEL/Tel	(EXT.)6330		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00?13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>RESAS (地域経済分析システム) のビッグデータを利用して地域の課題をグループ (3?5人) 別に分析し、その解決策を考えていく。</p> <p>RESASから見える地域の現在と将来の課題 (RESASの説明) 人口マップによる課題の分析 観光マップによる課題の分析 農業マップによる課題の分析 産業マップによる課題の分析 消費と自治体比較マップによる課題の分析 地域経済循環マップによる課題の分析</p> <p>以上の作業を通して各グループが選択した地域の課題を分析し、レポートにまとめる。 (RESASを具体的に体験したい方は、次のURLで体験してみてください (RESAS : <a href="https://resas.go.jp">https://resas.go.jp</a>) )。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>?RESASデータに基づき地域の現状・将来の課題を分析し、その分析から抽出される課題の解決に向けた対応策を提案できるようになる。(?, ?, ?, ?)。</p> <p>?自分の考えを正確に相手に伝え、相手の考えを尊重しながら議論をしていくことで、より優れた提言を見出すことができる(?, ?, ?, ?)。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	教室内でPCを用いてRESAS実習を行い、出身自治体のデータをレポートしていく。具体的には、各回の統計データをまず個人で分析し、グループワークを行ったのち、発表をしてもらい、まとめと振り返りを行ってもらう。		
授業内容/Class outline/Con	<p>第1週: RESASから見える地域の現在と将来の課題 (RESASの説明)</p> <p>第2週: 人口マップの統計データによる課題の分析</p> <p>第3週: 観光マップの統計データによる課題の分析</p> <p>第4週: 農業マップの統計データによる課題の分析</p> <p>第5週: 産業マップの統計データによる課題の分析</p> <p>第6週: 消費と自治体比較マップの統計データによる課題の分析</p> <p>第7週: 地域経済循環マップの統計データによるによる課題の分析</p> <p>第8週: 最終レポート報告</p>		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	RESAS操作法を事前に体験する		
キーワード/Key word	地方創生、ビッグデータ、地域経済分析		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは特に指定しないが、毎週必ずPCを持参すること。なお、参考書、参考資料等は講義中に適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	'講義中の個人での考察およびグループワーク (40%) ならびに毎回の講義で提出をお願いするレポート (60%) により総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	科目内容に関心がある学生であれば、とくに要件は課さない。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	R E S A S : <a href="https://resas.go.jp">https://resas.go.jp</a>
学生へのメッセージ/Message for students	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回/12月8日 : ?	講義ガイダンス
2回/12月8日 : ?	医療問題におけるトレード・オフコストとアクセス、コストと質?
3回/12月15日 : ?	日本の医療支出は高いのか?
4回/12月15日 : ?	日本の医療支出は高いのか?
5回/12月22日?	医療経済学とは何か?
6回/12月22日?	医療経済学とは何か?
7回/1月5日?	医療経済学は万能か?
8回/1月5日?	人口高齢化と医療費高騰
9回/1月12日?	医療保険制度の普及と医療費高騰
10回/1月12日?	国民所得の上昇と医療費高騰
11回/1月19日?	医師誘発需要と医療費高騰
12回/1月19日?	生産性上昇格差と医療費高騰
13回/1月26日?	長期介護医療費の上昇要因
14回/1月26日?	改革のための価値基準
15回/2月2日?	より良い改革案の提言